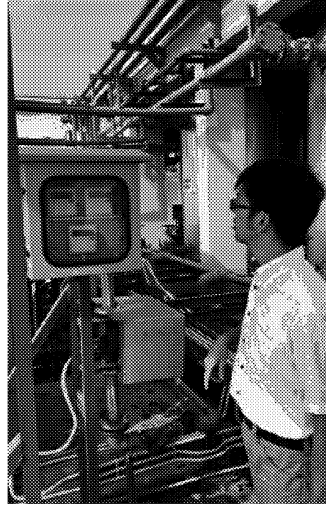


省エネコンサルに参入

データ活用、ガス・水道節約

アイフォーコム

システム開発のアイフォーコム（相模原市）は4月から、省エネ対策のコンサルティング事業に参入する。ガスや水道の使用量を「見える化」する監視機器の販売で蓄積した空調機器などの使用ノウハウをデータベース化し、効率的な使い方を助言する。コンサルサービスを監視機器の販売に次ぐ事業の柱に育てることを目指す。



同社が開発したシステムで、企業や家庭の配電盤や水量計、ガス流量計などに取り付けたセンサーを使い、使用エネルギーの時系列の変化をパソコン画面などに表示する「エコプロ21」で蓄積したノウハウを活用する。エコプロ21は10年以上稼働しており、納入実績は2500施設以上ある。豊富な運用事例の中から、省エネ効率の高い手法をデータベース化し、最適な省エネ手法の助言につなげる。例えば、複数の空調機を「強」で運転し、施設内エネルギー使用状況を確かめ、機器の運用ルールを作成する（首都圏のホテル屋上の機器）

の温度が一定になった時点で「弱」に切り替える方が省エネになるなど、実践的できめ細かいノウハウを伝える。利用料金はセンサーを取り付ける初期費用に100万円のほか、消費電力の温度が一定になった時点で「弱」に切り替える方が省エネになるなど、実践的できめ細かいノウハウを伝える。利用料金はセンサーを取り付ける初期費用に100万円のほか、消費電力

力量換算で毎月1000ポイントごとに1万3000円。これまで販売してきた監視機器による「見える化」だけで使用エネルギーの10%削減を実現しており、コンサルによる省エネ効果が加われれば、導入した顧客は1年以内に投資額を回収できるとみている。監視機器を販売した取引先にコンサルサービスの利用を呼びかけるほか、コンサルサービスのみを希望する顧客の開拓も目指す。